

駒澤復活! 1部昇格へ!

駒澤大学2-0東京農業大学

先取点を奪って活躍の
小牟田(撮影：清村亮太)

11月2日 11:30 駒沢オリンピック公園陸上競技場

駒大 2 (1-0) 0 東農大
(1-0)

得点者 (7シスト)

[駒]29分小牟田(平野)

[駒]74分小牧(大木)

KOMAZAWA

GK①大石健太(4)
DF⑬大木 暁(3)
DF⑤伊藤慎人(3)
DF④平尾優頼(3)
DF③田中雄一(4)
MF⑥若山瞭太(4)
MF⑦碓井鉄平(4)
MF⑪小牧成亘(3)
MF⑰平野篤志(2)
(86分⑱柳川剛輝(2))
FW⑱須貝 暁(3)
(62分⑳吉岡雅和(1))
FW⑨小牟田洋佑(3)
(92分㉒友廣壮希(4))

S U B

GK②野村政孝(4)
DF⑮川岸祐輔(3)
MF⑲児玉卓也(1)
FW⑳キム デセン(1)

MANAGER

秋田浩一

TONODAI

GK⑳松尾優作(3)
DF③田村 脩(4)
DF⑤櫻岡徹也(3)
DF⑳中西孝太(3)
(85分㉑徳田康朗(1))
DF㉒加藤聖哉(1)
MF⑥中垣内優太(4)
MF⑩浜田 翔(3)
MF⑪井上啓太(3)
MF⑱石川乾悟(2)
(74分㉓玉置達彦(4))
MF⑱今野 順(4)
(61分㉔岡底裕貴(1))
FW⑧佐々木 翼(2)

S U B

GK①神崎勇介(4)
DF⑮北島 堯(4)
MF⑦和気竜也(2)
FW③榊原 彰(2)

MANAGER

秋吉保浩

[シュート]8:4 [GK]6:11 [CK]6:4 [直接FK]15:7
[間接FK]0:4 [主審]酒井達矢 [観衆]516人

警告(C) / 退場(S)

勝負強さ発揮！悲願の昇格決定

勝てば他会場次第だが、悲願の一部復帰が決まる駒大。対するは4位につけ昇格を諦めていない東農大。駒大の運命が決まる一戦は「ホーム・駒沢」で始まった。

開始直後は一進一退の展開が続いた。どちらもこの一戦に賭けている強い想いを感じ取れるほどだった。球際に厳しく、鋭い寄せで敵のチャンスを摘みとる。好ゲームの予感がした。均衡状態が続くが、駒大は右サイドの平野が躍動した。パスを受けると素早く前を向き、果敢に攻め続けた。ゲームが動いたのは29分。再三駆け上がっていた平野からのボールだった。パスを受けるとドリブルでDFを1人かわしクロス。中で合わせたのは小牟田だった。ヘディングが美しい弧を描きゴール左隅へ突き刺さった。このゴールで前半は1点リードで折り返した。

後半は開始時から駒大ペースで試合は進んでいった。両サイドを平野、小牧が駆け上がり、得点が匂うシーンも多かった。しかし、最後のところで東農大も身体を張り、1点が取れそうで取れない嫌な時間帯が続いた。それでも

74分だった。碓井のスルーパスで完全に抜けた大木が右サイドを疾走。右足のクロスの小牧がダイレクトボレー。キーパーが1歩も動けないほど華麗なゴールを奪いその差を2点に広げた。その後、東農大も必死の反撃を仕掛けるが、センターバックを中心に見事に東農大攻撃陣をシャットアウト。結局2-0の完封勝利で駒大は自力で昇格へ近づいた。

今節での昇格の条件は3位青学大が引き分け以下、4位関学大も引き分け以下だ。この日の東国大と青学大の一戦は東国大の勝利。翌日の東学大と関学大の一戦は引き分けに終わりこの結果、駒大は悲願の一部復帰が決まった。「駒大は二部にいるチームでなく一部のチーム」キャプテンの碓井はこう語った。さらに続けて「次も勝って優勝したい」。試合後のキャプテンは既に優勝に照準を合わせていた。まずは「昇格」という目標をクリアした。4年生は泣いても笑っても残り3試合。このチームで「優勝」してから旅立って欲しい。

駒大復活の扉がようやく開いた。まずは二部での優勝が復活への第一歩だ。

(権平雅大)